



羽田ミヤコタナゴ通信

通信

こんにちは馬頭高校水産科2年、ミヤコタナゴ班です。私たちはミヤコタナゴを絶滅させないためにいろいろな人の協力のもと、活動を進めています。

私たちの活動は大きく分けて2つです。1つ目は羽田沼小学校との交流授業です。ミヤコタナゴの保全活動に興味を持ってもらえるように授業を進めています。初めての授業は、ミヤコタナゴや羽田沼の現状を知ってもらうために、ミヤコタナゴと羽田沼について説明を行いました。授業後、児童の感想には「わかりやすい説明で、登校中に水路とかのぞいてみようと思った」などミヤコタナゴについて理解を深め、周囲の環境についても興味をもってもらえたと思っています。2回目の授業では、実際に外へ出て魚類調査や羽田沼の湧水を見に行きました。魚類調査では一緒にガサガサを行い、マツカサガイを発見した児童もいました。羽田沼の湧水部を見に行くと、「冷たい」や「きれい」などの声が聞こえてきました。感想では「マツカサガイなどたくさんの生き物がいることが分かった」など室内授業にはない、実体験からくる感想が多く有意義な授業になったと感じています。そして3回目の授業では、生息水路やミヤコタナゴの飼育水槽の水質調査を行いました。調査のやり方を覚えてもらうことをメインに授業を進めていきました。感想には「3つの水では水質がかなり違うことが分かった」など調査の結果をしっかりと捉えることができていると感じました。

2つ目は、ミヤコタナゴの生息環境を再現するため、実習場の池を利用して、ピオトープ作成に取り組んでいます。まだミヤコタナゴは導入していませんが、ブロックや砂、岩を使って水路を作っています。冬までには完成させ水を張りミヤコタナゴそしてマツカサガイを入れどのように冬を越すのか観察してみたいと思っています。

これからも私たち馬頭高校ミヤコタナゴ班をよろしくお願いします！！

(栃木県立馬頭高校 水産科 2年 吉成 一路)

トピック

- 1 羽田沼～過去の記録より その2～
- 2 羽田沼の水を今年も抜きました
- 3 今後の活動について

発行元：羽田ミヤコタナゴ再導入に向けた協議会
発行事務局：農村環境クリエト



ちょっと浅いな!!
～ 羽田沼からの迷走? ～